



サンプル事業案シート：

就学前・学齢児童の 聴力検査を企画

聴力の低下はその程度を問わず、児童の学業に影響を及ぼす恐れがあります。就学前児童（3～5歳）の検査の目的は、コミュニケーション、発達、健康、将来の学業の支障となる聴覚低下の可能性が最も高い児童を特定することです。

学齢児童と青少年（5～18歳）の検査の目的は、発達、コミュニケーション、健康、教育の支障となる聴覚障害の可能性が最も高い青少年を特定することです。聴覚障害を持つ学齢児童は、その程度がわずかであっても学業やコミュニケーションに困難をきたすリスクにさらされています。

皆さんのクラブは、無料の聴力検査によって児童の聴覚障害の可能性を見極めることで、地域社会に重要な奉仕を提供できます。

クラブによる支援方法

ステップ1: 私立および公立の幼稚園、保育所、小中学校、高校に連絡し、クラブの支援による無料聴力検査が必要かどうかを確認します。地元の小児診療所や、児童の健康促進に取り組んでいる地域や州の組織を探してもよいでしょう。こうした組織としては、例えば以下が挙げられます。

- 特殊教育プログラム
- 公衆衛生機関
- 家庭福祉機関
- 家庭/青少年福祉局
- 保健社会福祉省
- 里子里親仲介機関

ステップ2: 聴覚専門家および使用する検査機器を手配します。聴力検査の幅広い経験を持つ聴覚専門医や診療所の聴力検査士は、多くの場合無料検査の実施に同意してくれます。

ステップ3: 検査の日時と場所（地域の学校、小児診療所、保育所、新学期健康診断の会場、公民館、図書館、教会など）を決定します。

ステップ4: 検査当日には検査室を整え、記録係を務めます。検査室には、机と椅子のある静かな部屋を選ぶべきです。機器のために電気設備も必要です。学校で検査を行う場合には、ライオンズは児童を指定の検査室まで誘導し、それぞれの教室に帰すボランティアとして奉仕できます。地域のレオクラブも奉仕を希望するかもしれません。



ステップ5: 地元の報道機関に前もって情報を提供し、聴力検査を宣伝します。また、クラブのPR委員長に支援を求めてください。

- 目立つ場所にチラシやポスターを掲示する。特に地域全域の児童に聴力検査を提供する場合には、日時と場所を地域の人々に知らせておく。
- 新聞広告、電話、Eメールを利用して聴力検査を宣伝する。
- クラブのウェブサイトで検査について通知する。
- 継続的に追加情報を提供する。

ステップ6: 検査を終えたら、クラブは以下を実施できます。

- 検査に協力してくれた人々にお礼状を送る。例えば、時間を割いてくれた聴覚専門家、会場を提供してくれた公民館、機器や用品を寄付してくれた企業など。
- 地元メディアにニュースリリースを送る。検査を受けた児童の数や精密検査のために紹介を受けた児童の数など、詳しい情報を含める。
- 聴覚障害を持つ児童の家族に連絡し、その家族が利用している医療機関での精密検査について情報を提供する。

ステップ7: クラブの成果を祝いましょう。会員とボランティアに感謝状を贈ります。聴力検査会場の提供者には、ライオンズ児童ファースト感謝状を贈呈するとよいでしょう。

成功を共有しましょう！

国際協会のウェブサイト www.lionsclubs.org を訪問し、皆さんの事業について情報を提供してください。検索ボックスに「ライオンズ児童ファースト」と入力するだけで、簡単なオンライン・アンケートにアクセスできます。



Lions Clubs International

保健及び児童奉仕課
ライオンズクラブ国際協会
300 W 22ND ST
Oak Brook IL 60523-8842 USA
www.lionsclubs.org
Eメール: children@lionsclubs.org
電話: (630) 571-5466
FAX: (630) 571-1692